

下関市立美術館小企画展「潮流・下関」講演会

美と公共性—公立美術館を考える

講師：金田 晉^{かなた すすむ} 美学者 博士(文学、東京大学)、東亜大学特任教授

日時：2020年12月19日(土)午後2時～午後3時30分

場所：下関市立美術館 1階講堂(下関市長府黒門東町1-1)

潮流
下関
2020

下関出身または、下関を活動拠点として制作してきた作家を紹介する、下関市立美術館の小企画展「潮流・下関」。本展覧会開催を記念して、美学者の金田晋氏をお招きし、講演会を開催します。

金田氏は長年、地域と美術館との関わりに取り組んで来られました。講演会では、金田氏のこれまでの活動について伺いながら、これからの下関市立美術館における地域との関わりについて考える機会となれば幸いです。



金田氏コメント

‘80年代初期多くの市立美術館が生まれ、以来地方文化の育成のために大きな寄与を果たしてきた。なかでも下関市立美術館はすぐれたコレクションを擁し、企画展は多くの観客を集めてきた。今、このたびのコロナ危機を機会に、公立美術館の役割を〈公共性〉の面から改めて考えてみたい。

略歴

1938年、堺市生まれ。東京大学文学部、同大学院を経て、広島大学教員、広島大学名誉教授。現在、東亜大学大学院等で特任教授・同研究科長。

専門分野：現象学的美学、比較美学。

社会活動：ひろしま美術館理事他。

著書：絵画美の構造、芸術作品の現象学他多数。

申込方法：先着順。電話(083-245-4131)で受付し、定員(30名)になり次第締め切ります。

※聴講は無料です。

小企画展「潮流・下関」

会期：2020年11月28日(土)～2021年1月24日(日)

主催：下関市立美術館

お問い合わせ：下関市立美術館(下関市長府黒門東町1-1) Tel. 083-245-4131